

animal donation magazine

公益社団法人

アニマル・ドネーション 活動報告 <第13期>



キモチをカタチに。

8年間で約400件の治療実績！

犬が医療チームの一員になる 「動物介在療法」とは？

動物虐待をなくすために！

モノ言えぬ動物たちを代弁する
「NPO法人 どうぶつ弁護団」

オンライン寄付以外にも！

アニマル・ドネーションなら
さまざまな方法で寄付や支援ができる

犬が医療チームの一員になる 「動物介在療法」とは？



2023年から3代目の勤務犬に就任したハクくん(2歳)と、ハンドラーの兒島看護師長(左)と溝部看護師(右)。動物介在療法に関わる勤務犬の活動は7歳まで。勤務中は、パートナーであるハンドラーさんの家族と共に暮らします

犬の秘めたる能力を人間の医療現場で生かす「動物介在療法」という試みが始まっています。その先駆的な病院が、神奈川県にある聖マリアンナ医科大学病院(以下、聖マリアンナ)です。2023年には3代目のハクが、新しい「勤務犬」として医療チームの一員に加わりました。大学病院を訪ね、ハクと一緒に活動をしているハンドラーさんにお話を伺いました。(取材・文/村田 典子、写真/吉田 素子)

病院内の全科にわたり 8年間で約400件の治療実績

聖マリアンナでは、2015年4月から動物介在療法を導入しています。初代の勤務犬は、ミカ(スタンダード・プードル)。2019年1月に2代目のモリス(スタンダード・プードル)、2023年4月に3代目のハク(ゴールデンレトリバー)がバトンを受け取りその活動を継続しています。週に2日、病院に出勤して活動しており、「勤務犬」という肩書きのIDカードも用意され、院内には専用の待機部屋もあります。

勤務犬の活動は、病棟看護師や医師からの依頼によってスタートします。例えば、リハビリが必要な患者さんの中には、時として意欲が低下し、回復が思うように進まないことに苛立ちを覚え、周囲とのコミュニケーションを拒んでしまうことがあります。そうした患者さんにどのようにアプローチしたら良いかを考える過程で、動物介在療法が立案され、勤務犬への活動依頼が来るのです。大切なのは「目的を持って看護計画を立てる」こと。犬と一緒に何をすると治療になるのかを患者さんと共に医師、看護師、ハンドラーさんが考えていきます。

聖マリアンナでの勤務犬の介入実績は、8年間で約400件(うち約50件が小児患者)。診療科目は、小児科や小児外科をはじめ神経内科、脳神経外科、循環器内科、心臓、眼科など。疾患別で見ると、悪性腫瘍34%、変性疾患12%、小児の疾患11%など、幅広い科目、疾患にわたっています。



2代目のモリス(右)と、モリスからバトンを受け継いだハク(左)。ちなみに、初代のミカはすでに天国に旅立っていて、病院のロビーには銅像が飾られています

(写真提供：社会福祉法人 日本介助犬協会)

犬にはけっして無理をさせない。 ただ患者さんに寄り添うだけ

犬が治療に関わると聞くと、さぞかし特殊な能力を持った犬か、特別な訓練を受けたスーパードッグなのではと思われがちです。しかし、

聖マリアンナのミカ、モリス、ハクは人と一緒に暮らす基礎的なトレーニングや、ベッドアップや車いす横を歩く時の動き、玩具遊びをする時のレトリブなど以外、特殊な訓練は受けていません。なぜなら、医療チームの一員として活動するといっても、犬が「病気を治す」という意識で患者さんと接するわけではなく、医療者も犬に特別な行為をさせるわけではないからです。ハクを動物介在療法に関わる勤務犬として育てた「社会福祉法人 日本介助犬協会」によれば、選ぶ際の基準は持って生まれた性質。人が好きで、初対面の人とも一緒にいることが楽しいと感じる性質の犬に適性があるといえます。聖マリアンナの3代目勤務犬を決める際には、ハクを含め5頭の候補犬の中から、まわりの環境に影響されずにどこでもリラックスして目の前にいる人に寄り添うことができ、人になでてもらうのが大好きなハクに適性を見出したそうです。

実際に、病院内でハクが患者さんと接する姿を観察してみると、じつに自然体で、ただ「人が好きだからそばにいる」といった印象を受けました。患者さんと看護師さんとの会話に耳を傾けているかのように、患者さんの体にじっと寄り添っていたり、患者さんがなでてくれるのを、目をつむって心地よさそうにしていたり、患者さんの膝に頭を乗せて、スヤスヤお昼寝タイムに入ってしまったたり。また、小児病棟のプレイルームでは、患者さんが隠した魚のぬいぐるみをハクが見つかる宝探しゲームも。いずれの場合も、ハクと一緒にいる患者さんの表情が和らいでいることと、とても饒舌になることが印象的でした。

ある患者さんは、次のように話してくださいました。「病気になったことは辛いし、治療も辛いです。でも、ハクちゃんと一緒になら頑張れそうと思って、この病院に入院を決めたんです」



「落ち込んでいた日も、ハクちゃんに会ってなでていると、気持ち落ち着いてきて、いつのまにか明るくなれるんです」という患者さん。ハクもそんな患者さんのそばにいるのが大好きな様子で、全体重を患者さんに預けてリラックス

ハンドラー2名は院内から募集。 ベテラン&中堅の看護師コンビ

ハクが3代目の勤務犬に就任するにあたっては、病院内でハンドラーの募集がありました。ハンドラーとは、犬とパートナーシップを築き、一緒に活動する人を指します。普段から犬と一緒に暮らし、犬の勤務日には共に「勤務犬の部屋」に出勤し、治療の現場に立ち合うのです。

立候補してその任務に選ばれたのは、看護師長の兒島さんと看護師の溝部さん。兒島さんは、先代のモリスの時に預かりボランティアをしていた経験があり、家にはボーダーコリーがいる愛犬家。ハンドラーになろうと思った理由を次のように話してくれました。

「動物介在療法を院内により浸透させ、犬がもっと活躍できるように環境整備を進めていくためには、管理者クラスの間が必要だと思ったからです」。実際に、聖マリアンナに勤務歴34年の経験をもつ兒島さんのネットワークは、院内各所に張り巡らされていて、ハクの活動をスムーズに行ううえで役立っているようです。また看護師歴12年の溝部さんは、他の病院にいた時に、人間の言葉による看護に限界を感じたことがあり、それが動物介在療法に興味を持ったきっかけだとか。「そばに寄り添うことが看護になり、治療の一環になるなんてすごいなあ。先輩方が続けてきた活動をぜひ引き継いでいきたいと思いました」。おふたりとも、ハンドラーになるにあたり、ハクと患者さん双方に無理なく、かつ安全に治療にあたるようハンドリングの知識と技術を習得。現在、ハクは兒島さんの家で暮らし、勤務日には一緒に出退勤しています。



ストレッチャーに乗るのが大好きで、ふれあい後にそのままラクラク移動するハク。「波乗り犬」ならぬ「担架犬」か(!?)

動物介在療法に確かな手応え 活動範囲を広げるチャレンジも!

ハクと一緒に活動を始めて数ヶ月。おふたりは動物介在療法の可能性についてどのように感じているのかお伺いしました。

「ハクがいることで、リハビリに前向きに取り組めるとか、ハクがそばにいて終末期の患者さんに寄り添うご家族の表情が和らぐとか、さまざまな効果と可能性を実感しています。また、言葉での反応も身体的な動きもなかった患者さんが、ハクをなでようとして手を伸ばしたり、ハグしようと体を起こそうとしたりすることもあります。リハビリ室に行かなくても、その行為自体がリハビリになることもあるんですよ。これからも、患者さん一人ひとりに向き合っ、ハクの力をどのように生かしたらよいか考えていきます」と兒島さん。

また、溝部さんは今後、外来で動物介在療法にチャレンジしたいと言います。「近年は入院期間が短く、当院でも在院期間は平均10日ほどです。ハクの勤務日は週に2日ですから、一人の患者さんの治療を継続的に行うのは難しいですね。外来で引き続き治療に参加できるようになるのが理想だと思います。課題を一つずつクリアしながら活動を進めていきたいですね」

ただそばにいてだけで、 人間を幸せにする「介在犬」

犬は、人間の感情に共感する能力があるという実証結果が日本でも海外でも発表されています。その備え持った能力でケアを目的として人間に寄り添う犬のことを、アニドネでは「介在犬」[※1]と呼称しています。まだまだ数は少ないながらも、日本国内でも動物介在活動[※2]が広がりつつあります。今回はアニドネ認定団体の中で動物介在活動をされている3団体をご紹介します。

[※1] 介在犬は、障がいを持った人たちの手助けをするための補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）とは異なった特徴や活動をしています。

[※2] 動物介在活動とは、AAA（Animal Assisted Activities＝動物介在活動）/AAT（Animal Assisted Therapy＝動物介在療法）/AAE（Animal Assisted Education＝動物介在教育）といった領域に分かれています。世界的にも注目が集まっていますが、日本国内ではまだ認知度が低いのが現状です。

認定特定非営利活動法人 キドックス

不登校や引きこもり等の自立に悩みを抱える子どもや若者達の社会参加活動として、飼い主に捨てられた犬の保護・家庭で暮らすためのトレーニング・譲渡活動を行い、若者と犬の両者の社会への再出発を支援しています。



公益社団法人 日本動物病院協会 JAHA

1978年に創立。1986年からは動物病院の社会貢献事業として、病院や一般家庭で飼養されている主に犬や猫とともに高齢者施設等を訪問する「人と動物のふれあい」活動を開始。これまでの活動回数は2万回以上になります。



公益財団法人 ヒューマン財団

保護した犬が新しい居場所で幸せに暮らせるように、少年院などで動物介在活動などのプログラムを推進。盲導犬、米国の介助犬の育成に携わっていたスタッフが、個々の犬の性格に寄り添い、トレーニングを行っています。



動物虐待をなくすために 今、私たちにできることは

目を覆いたくなるような動物虐待のニュースが増えています。

そのたびに「虐待を防ぎたい」「何とかしたい」と思う方は多いのではないのでしょうか。

細川敦史弁護士もそのひとり。動物虐待防止への強い想いを持って

「NPO法人 どうぶつ弁護団」を設立されました。

動物を虐待から守るために私たちはどうしたらいいのか、細川弁護士にお話を伺いました。

(取材・文／鈴木 朝美)



NPO法人どうぶつ弁護団
理事長

細川敦史氏

2001年弁護士登録(兵庫県弁護士会)。動物の法と政策研究会会長、ペット法学会会員。民事・家事事件全般を取り扱いながら、ペットに関する事件や動物虐待事件を手がける。



NPO法人どうぶつ弁護団のHP
<https://animal-dt.org/>

— モノ言えぬ動物たちを代弁し、 護っていく「NPO法人 どうぶつ弁護団」

私は子どもの頃から動物好きで、猫やインコ、ハムスターなどたくさんさんのペットに囲まれて暮らしてきました。弁護士になってからも、動物問題についての事案に取り組んできたため、動物虐待事件の代理人弁護士を務めることもありました。一般市民や動物愛護団体から寄せられた動物虐待の相談に対し、警察に適切に捜査してもらうために告発手続きをします。弁護士はたくさんいますが、私のように動物問題を扱っている人はまだ少ないため、様々な地域の動物愛護団体が相談に来られるようになり、私の活動は全国的になっていきました。とはいえ、常に気がかりだったのは弁護士費用のこと。その費用は依頼をされる動物愛護団体や個人のボランティアさんが負担されていたのです。しかも告発して被疑者が処罰されるなどしても、彼らには1円も入ってくることはありません。この不平等を解決する方法はないかと悩んでいたところ、所属する弁護士会のメンバーや獣医師で同じく動物問題に心を寄せる方たちが集まってきてくれ、意見を交換するうちに、動物虐待事件に向き合う「NPO法人 どうぶつ弁護団」を発足しようということになったのです。

動物は虐待されてもそれを訴えることができません。もちろん相談もできないし、110番もできません。動物虐待は表面化することが難しいのです。「どうぶつ弁護団」はそういったモノを言えない動物たちを代弁して護ることをミッションとしています。一般の方から提供された動物虐待事件の情報を精査し、実態を調査します。これは…と判断した事案は証拠や書類などをそろえて刑事告発するのです。

こうした取り組みは全国初。虐待をできるだけ早期に発見し、被害の深刻化を防ぎたい。そして動物虐待のない、人と動物に優しい社会の実現を目指したいと考えています。

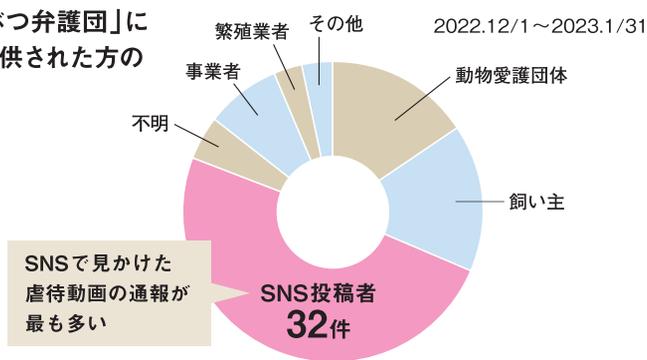
— 発足して約1年。積み重ねてきた前例

2022年9月に発足し約1年。これまで約250件(2023年7月現在)の情報提供をいただきました。告発事案も少しずつですが積み重ねてきています。最近の事案は、大阪と東京で発生した事件で、狩猟用のわなで猫が被害にあいました。猫が感じた辛さや痛みを代弁し、適切な処罰を求めます。また、通報者の想いに応え、動物たちのQOLを高めていくための告発です。管轄の警察署へ提出した動物殺傷罪の告発状が受理され、捜査が進んでいます。



「どうぶつ弁護団」に寄せられる情報で多いのはインターネット動画関連で、YouTubeをはじめSNSで見た動画が虐待ではないか?という通報です。外猫にひどい扱いをしたり、家で飼っているハムスターにいたずらしたりするという、悪質なチャンネルも多くあります。こういった行為は隠れて行われることがほとんどなので、気づかれにくいのです。何とかして護りたいと思わずにはられません。とはいえ、「どうぶつ弁護団」はNPO法人です。弁護士業を営むことはできないため、動物虐待に関する法律相談は受けられないのです。また、動物愛護団体のように直接的に動物の命を救ったり保護したりすることもできません。いろいろと難しいことはありますが、私たち専門家で構成されるNPO法人が虐待情報を警察へつなぐことで、虐待者に対する捜査や刑事処罰がなされれば、将来の動物虐待に対する抑止力につながり、ひいては動物を救うことになるのだと、この活動の意義を強く感じています。

「どうぶつ弁護団」に
情報提供された方の
属性



— 動物虐待はれっきとした犯罪。進む罰則の強化

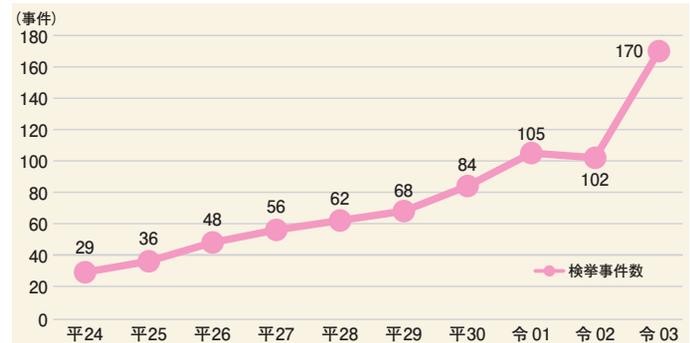
動物虐待を取り締まる法律として「動物愛護管理法」があります。これまで何度も見直され、最も近い改正では、愛護動物をみだりに殺傷した者は「5年以下の懲役または500万円以下の罰金」と罰則が強化されました。愛護動物を衰弱させるなど虐待を行った者や動物を遺棄した者には「1年以下の懲役または100万円以下の罰金」と懲役刑が追加されることに。同時に、動物虐待にあたる項目も増えました。例えば、「ネグレクト」という行為。十分なエサや水を与えないとか、必要な世話を怠る、病気やケガをしても適切な保護を行わない、劣悪な環境で飼育するなどといった「動物たちのために人間がやらなければいけない行為をやらない」という本質的なことが、動物虐待行為として明文化されたのです。まだ虐待に当てはまるケースがすべてカバーされているわけではありませんが、以前に比べると大きな進歩だと思います。これまで立件できなかった事案も、立件可能になるケースが増えました。動物の虐待はれっきとした犯罪です。「どうぶつ弁護団」としては、今後さらに現状に相応しい法改正に関する提言にも取り組んでいきたい。また、適切な判決や処分が行われるように働きかけていきたいと思っています。

— 重要なのは、動物虐待を見過ごさない意識

動物愛護管理法違反で全国の警察が2022年(令和4年)の1年間に摘発した事件は166件あり、187人が逮捕・書類送検されたそうです。統計を取り始めた2010年以降では、2021年(令和3年)の170件、199人に次いで2番目に多かったと警察庁の発表がありました。内容別

では「遺棄」が最多の74件。「虐待」が49件。「殺傷」が43件と続きます。摘発件数が増えている背景について、「動物への保護意識が高まり、通報が増したためではないか」と警察庁は見解を述べています。実際に166件の摘発のうち、一般市民や動物愛護団体からの通報によるものは109件あり、前年より多く、全体の6割以上に。市民レベルの高い意識が、動物虐待の抑止につながっているのです。

動物虐待事犯の検挙事件数の推移



出典：令和3年における生活経済事犯の検挙状況等について(警察庁生活安全局 生活経済対策管理官)

動物虐待に気づいたら、ためらわず情報の提供をお願いします。「どうぶつ弁護団」へ提供いただく情報内容に特別なハードルは設けていません。ホームページにある「虐待情報のご提供」というボタンから入っていただければ、誰でも簡単に情報を入力できるように設計しました。費用もかかりません。積極的に使っていただきたいと思ひますし、家族やお知り合いにも、ぜひこんな団体があるんだよと広めていただきたいと思ひます。

現在のメンバーは兵庫県内の弁護士と獣医師が中心ですが、皆意欲のある人ばかりで、日々忙しく弁護士業務をこなしながらも、関心をもって取り組んでいます。県内に限らず日本全国の事件に対応して、様々な実績を積んでいこうと意気込んでいます。

動物虐待をなくすためには、一人ひとりが動物虐待について正しく理解し、動物虐待を見過ごさない意識を持つことが大切です。「どうぶつ弁護団」は、皆さんの動物虐待を見過ごさないという想いを後押しします。そして、警察にも動物虐待を見過ごさせないための働きかけを続け、動物にとっても人にとっても、健康で安全な環境を築きたいと思ひます。



「動物愛護管理法」の定める“ネグレクト”とは

- 愛護動物に対し、みだりに、給餌若しくは給水をやめ、酷使し、その健康及び安全を保持することが困難な場所に拘束し、又は飼養密度が著しく適正を欠いた状態で愛護動物を飼養し若しくは保管することにより衰弱させること
- 自己の飼養し、又は保管する愛護動物であって疾病にかかり、又は負傷したものの適切な保護を行わないこと
- 排せつ物の堆積した施設又は他の愛護動物の死体が放置された施設であって自己の管理するものにおいて飼養し、又は保管すること

認定団体「手と手の森」が新たな施策を導入“虐待ホットライン”

アニドネの認定団体で、北海道旭川市を拠点に活動している「特定非営利活動法人 手と手の森」は、2023年3月に動物虐待やネグレクトの相談・通報の窓口“虐待ホットライン”を開設されました。これはLINEのAI応答によるチャットボット。動物虐待かもしれないという状況に出会った時にこれを利用すれば、住んでいる地域や状況に応じてどこに問合せをすればいいのかを、AIがさばき誘導してくれるという画期的なシステムです。

「手と手の森」は、かねてより旭川市動物愛護センター

「あにまある」、上川振興局、北海道警察と連携し「てとて、わんにゃんパトロール」を発足。一般市民が動物の遺棄や虐待に気づいた時に迷わず行動できるようにと活動されていました。“虐待ホットライン”は、その活動の一環。動物虐待の通報により的確に対応できるようにと作られました。動物虐待を見過ごすことなく、すぐにアクションを起こせるこの仕組み。スタート時は旭川市のみですが、全国展開を目指して活動されています。



動物虐待の相談先に迷う旭川市民、獣医師は左記からLINE登録を。緊急性の高いケースでは、「てとて、わんにゃんパトロール」が迅速に動く

アニドネなら

\\ オンライン寄付・公式サポーター以外にも、//

さまざまな方法で寄付や支援ができる!

「普通に寄付をするのもいいけど、何か活動を通して寄付することが出来れば…」と思う方のために、アニドネでは、寄付つき自動販売機を設置したり、店頭で募金箱を置いていただくなど、さまざまな方法で寄付に参加することが可能です。

今回はその中でも、企業との「コラボレーション寄付」、商品の一部に寄付をつける「+イイコト」をご紹介します。

コラボレーション寄付

商品購入やSNSでの拡散、サービス利用でアニドネを通じて認定団体へ寄付できる

LINE (※現 LINEヤフー)



2022年11月1日～12月1日の期間限定で、LINEスタンプ・絵文字で#犬の日を盛り上げよう! キャンペーンが実施されました。スタンプ・絵文字を制作、または購入することでキャンペーンに参加が可能。キャンペーン対象の「犬スタンプ・絵文字」の売上の一部に寄付をつけてくださり、321万275円のご寄付をいただきました。また犬の日に続き、2023年2月22日～3月22日には、猫の日を記念したLINEスタンプキャンペーンを実施。152万8,519円のご寄付をいただきました。



アニドネボランティア「クラブアニドネ」もスタンプ制作に挑戦!

今回のLINEスタンプキャンペーン実施にあたり、アニドネも企画にコラボ! ということで、株式会社サビーボと協力し、アニドネが伝えたいメッセージをスタンプに込めてみました。

<犬の日スタンプ>

- 1 動物福祉向上プロジェクト「AWGs」
- 2 保護活動を応援するスタンプ
- 3 保護犬を家族に迎えるスタンプ



<猫の日スタンプ>

- 4 動物福祉向上プロジェクト「AWGs」



犬の日スタンプで3種類、猫の日スタンプで1種類を制作。スタンプごとに制作チームを分け、ミーティングを重ね、メッセージ・イラストの方向性を決定。それぞれ違うテイストとなり、特徴的でメンバーのこだわりが詰まったものに仕上がりました。



+イイコト

商品(もしくはサービス等)を購入すると、その売上の一部をアニドネを通じて認定団体へ寄付できる

ノジェス (株式会社サザビーリーグ エーアンドエスカンパニー)



株式会社サザビーリーグ エーアンドエス カンパニーが運営するジュエリーブランド、「NOJESS(ノジェス)」。「NOJESS Animal Donation Project」として、小さな幸せを纏うアニマルモチーフジュエリー企画を実施。おもちゃを追いかけながら元気に走り回る仔犬のモチーフが隠れたネックレスや、毛並みや顔の表情を繊細に表現したリバーシブルデザインのチャームなどを販売されました。対象商品1点の売上につき333円の寄付をつけていただきました。

ノジェスは「小さな幸せを纏うジュエリー」をコンセプトにジュエリーを展開しています。「ドネーションは幸せを運ぶ」というアニドネ様の想いに共感し、ジュエリーを通して活動に参加したいと思いました。動物福祉活動は、根気強く続けていくことが必要だと思いますので、今回の取り組みもその一つとなることを願っています。

(株式会社サザビーリーグ エーアンドエスカンパニー)

阪急ハロードッグ



愛犬・愛猫をサポートするアイテムの販売やサービス運営を行っている、株式会社阪急ハロードッグ。厳選された国産原料を使用した、こだわりのオリジナルドッグフード「eugreen(ユーグリーン)」を販売しています。フードに含まれる微生物の一種であるユーグレナは、59種類の動植物性栄養素を持ち、ワンちゃんに必要な栄養素がいっぱい。商品売上の一部に寄付をつけていただきました。

ペット事業を展開する会社として、世の中の可哀そうな犬猫や人の役に立って欲している犬猫達、さらに、そのような犬猫を支援する団体様に少しでも役立ちたいという思いから寄付を始めました。動物福祉の向上を実現するため、「人と動物が幸せに暮らせる社会をつくる」という共通の目的を持つ日本中の団体が、横断的に協力し合える関係になれるといいと思っています。

(阪急ハロードッグ 斎木美和子)



阪神タイガース
秋山拓巳選手

著名人も
動物福祉向上を
応援

オリンピック 競泳(バタフライ)メダリスト
星奈津美さん



「保護犬への活動が自分自身の仕事への活力に」

プロ野球阪神タイガース秋山拓巳選手が、アニドネ認定団体「特定非営利活動法人 ペッツ・フォー・ライフ・ジャパン」を訪問。保護犬の現状を視察され、アニドネ認定団体に向けて活動費用のご寄付をいただきました。

「今年で2年目の活動になります。昨年はじめて保護施設に伺い、自分の中で印象が変わりました。保護犬は危険だったり、病気がちな印象があるかと思うのですが、今日、訪問した犬たちは本当に人懐っこい子ばかりです。ペットショップではなく、こういった施設があることを、もっと世の中の方々に知ってもらいたいです。そのために、頑張って活動を継続することが重要だと考えています」



「勉強しながら、介在犬の活動を広めたい」

オリンピック3大会連続出場、2大会で銅メダル獲得という偉業を成し遂げた星さん。大の動物好きで、現在も2頭のキャバリアとともにペットライフを楽しんでいます。そんな星さんが、このたびアニドネの「介在犬アンバサダー」に就任！「まずは私自身が介在犬のことを勉強して、その活動内容と役割をよく理解したいです。そのために、トレーニングされている様子を拝見したり、実際に裁判所や病院で介在犬の活動を見学したりしたいと思っています。」

そして自分の理解を深めながら、世の中に介在犬の存在意義とその活動内容を広く知ってもらえるよう広報していければと考えています」



第13期 収支表

(2022年6月1日～2023年5月31日)

(単位: 万円)

収入		8,126
	会費	64
	事業収益	67
	受取寄付金	7,995
支出		8,651
	交通・通信費	109
	運営費	764
	支払寄付金	6,740
	委託費	1,038
財産増減額		
期首残高		1,977
当期増減額		-525
期末残高		1,452

※詳細はHPに掲載している決算書をご覧ください。
※支払寄付金は、アニドネ認定団体への寄付金となります。

賛助会員 (アニドネ自体の活動を応援)

個人

- 干場 紀美子
- 望月 幸枝 / 望月 隆二
- 川満 久恵
- 平山 大樹
- 武田 由佳里
- 小澤 啓一
- 犬山 哲
- 安藤 冬樹
- 漢人 義典
- 水野 愛弓
- 白井 富士江
- 岩城 雄太
- 富岡 ひとみ
- 崎山 誓子
- 伊藤 美紀
- 坂間 俊夫
- 大庭 郁恵

法人

- 株式会社FILL LIGHT
- 株式会社エレメント
- HRビジネスパートナー株式会社
- 株式会社タスカル
- チタニストラボラトリーズ株式会社

第13期 寄付総額 7,995万円

◆社名一覧(50音順)◆愛眼株式会社(ねころりんシリーズ) / 株式会社アイティ・イニシアティブ / アイビスティ株式会社 / アイペット損害保険株式会社 / アイリンクス株式会社 / @griffe東京 / 株式会社アスカネット(マイブック) / 株式会社アスコットジャパン / 株式会社アダストリア / スタディオクリップ / アナスイ ジャパン / 株式会社 / アニコム損害保険株式会社 / 株式会社アニコス / 株式会社アミューズ / AMILIE / 株式会社arigato / 香こま / アンファー株式会社 / lico / 犬樂 / INUTO / いぬのきもち / ねこのきもち / 株式会社イリオスマイル / ヴィエー / ヴァンドーム青山 / うさバラ / 株式会社エイチアールシー / HRビジネスパートナー株式会社 / EkaD (エカド) / 合同会社EXNOA / 株式会社エレメント / オーヴ株式会社 / organic pet food COCOCOOL / (有)オナーファーム / 大山神社 / kakuo gadgets / 桂屋ファイングッズ(株) / 株式会社カラス / 特定非営利活動法人寄付型自動販売機普及協会 / Cat's Meow Books / くらねこ / くらねこ / 株式会社クロノス / 株式会社ココロ / 株式会社サイバーエージェント / 株式会社サザビリー / エアランドエスカンパニー / ciiron TOKYO / JDTA 日本ドッグセラピスト協会 / 柴犬アプリ / シバタロウ / 好きな写真で愛をつくる専門店ユアフォトクッション / 株式会社 STYZ / SLURR / 株式会社世界文化ホールディングス / 株式会社セレス / ソフトバンク株式会社 / 株式会社SOLO / TAKALAKA / 株式会社ダイイチ / 一般社団法人七ヶ谷協会 / chico どうぶつ診療所 / チタニストラボラトリーズ株式会社 / ティーダッシュ合同会社 / 株式会社デファクトスタンダード / 東京PETHOTEL / 東光株式会社 / ドギーマンハヤシ株式会社 / ドッグサロンVITA / DOG DEPT / 日本全業工業株式会社 / 一般社団法人 日本ドッグトレーナー協会(JDTA) / 株式会社nyans / Next up株式会社 / ねこざく / 株式会社NeCoNe / ねこねこ / PARK GALLERY / 一般社団法人BUY ONE SAVE ONE / Bow Wow Store / 株式会社HaMinT(ハミント) / 株式会社バルコ / 株式会社阪急ハロドッグ / BSテレ東 / familiaチワワと飼い主 / 株式会社FILL LIGHT / 50-50 LLC / forZERO(フォーゼロ) / ブックオフコーポレーション株式会社 応援プラットフォーム「キモチと。」 / 物品寄付型ファンディングプログラム「お宝エイド」 / 株式会社フラワリング / Fairycake Fair / ベーリンガーインゲルハイム / アニマルヘルスジャパン株式会社 / 株式会社ヘッズ / ペットアロマウェルビーイング協会 / ペットの水彩画 水沢渡アトリエ / ペットフォトスタジオ わんこぶらネット / HORSEHEAD LABS / 株式会社ボーダレス・ジャパン / ハチドリ電力 / 医療法人星が丘瀬川皮膚科クリニック / マース ジャパン / リミテッド / Miles Japan株式会社 / 株式会社メイダイ / モトニヤワ実行委員会 / モラタメ.net / Yahoo!ネット募金 / 山と溪谷社 / ライオンペット株式会社 / LINE Creators Market / ラグ・ビー株式会社 / 株式会社Reach Script / ribneco / リボンネーション公式サイト / 和歌山染工株式会社 / わたしぬこ / わたしぬこ

※上記にご紹介させていただいた企業・団体様以外に、オンラインによる個人団体の寄付者様、全国に設置の募金箱や自動販売機へご寄付をいただいております。

ご支援ありがとうございます。みなさまのご期待に応えられるよう、今後も活動してまいります。

寄付控除について

アニマルドネーションは「公益社団法人」です。ご寄付をいただきました個人様は寄付金の優遇税制対象となります。※企業様については、アニドネHPの「税金控除の対象」内をご確認ください。

寄付金額の40%~50%が戻ってきます

寄付金から2,000円を引いた額の最大50%(所得税40%+住民税10%)が戻ってきます。例えば、5万円を年間に寄付した場合、2,000円を引いた48,000円の40%~50%が還付され戻ってくるのです。※注

※注 住民税も寄付金控除の対象となります。例えば東京都港区の場合は、控除割合は最大10%(都道府県民税4%/市区町村住民税6%)となります。ただし、各自治体によって異なります。※詳しくはアニドネHPの「税金控除の対象」内をご確認ください。

アニドネ
主催

「STORY with PET」第5弾

あなたを<幸せ>にする ペットのストーリー



キャンペーンの趣旨

第5弾のテーマは「聞かせて!あなたとPetのストーリー」。
 <こんなに可愛い><ここが凄い><こんな弱点やいたずらも面白い>。
 そんな「うちのコ自慢」なエピソードを募集。可愛しぐさに笑顔になったり、
 おかしな姿に大笑したり、寝姿を見ているだけで心が穏やかになる。飼い主
 さんを<幸せ>にするペットのエピソードをSNSで投稿してもらいました。

抽選プレゼント

今回はアニドネへの寄付企画に掲載いただいている企業様からグッズをセレクト。8種類の魅力あふれるアイテムを、ストーリーを投稿してくださった方の中から30名に抽選でプレゼントしました!一部商品をご紹介します。



ライオンペット株式会社
「獣医師開発*ニオイをとる砂専用
猫トイレ スタートセット」

*東京猫医療センター 服部獣医師と
ライオンペット(株) 獣医師の共同開発

菅原工芸硝子株式会社
「リワーク:デュオ オールド遊ぶ猫」



株式会社フラワーリング「ドッグラウンドボーチ」

ペットの写真と想いをSNSに投稿することで、
 犬猫にちなんだグッズが当たるキャンペーンを、
 2023年2月22日~4月30日の期間限定で実施しました。

エピソード紹介

応募して下さった中から一部投稿をご紹介します。

Gomez 🐱 Cat Tuber 🐶

寒がりなので、寒い日はいつも一緒。寒い日限定で仲良しのふたり。



あすか 🐱

わたしが行くところに必ず付いてくるはまち 🐱
 特に可愛いのが電気を消してベッドに入ると、人間用ベッドの隣にある猫用ベッドに必ず来てくれます 🐱
 一緒に寝てくれるんだと嬉しくなります 🐱
 うちのはまちが世界で一番かわいい! 🐱(・̀・) 🐱



ふうちゃん

教員を務めていた頃、激務で病気をしました。そんな中迎えた愛犬、迎えたことで長い間飲んでた薬をやめることができました。今は教員をやめて、ペット関係の仕事に就いています。愛犬にいつも幸せをもらっています。愛犬へ何を返せるのか、いつも考えながら生活しています。



おつゆ ときどき いりこ 🐱

抱っこは嫌いなのに甘えん坊な いりこ 🐱
 フミフミしながら爆音ゴロゴロされるのが 最高の癒しです 🐱🐱



アニドネ活動レポート<第13期>

ペットを取り巻く問題は
 今や社会全体で捉えるべき。
 家族から社会の一員に向けて

公益社団法人アニマル・ドネーション
 理事/プランナー
 上野 歩美



「ペットは家族」「人とペットの共生」という言葉が近年、認知・浸透してきています。一方で、人とペットを取り巻く問題は、人間の社会課題と比例して依然として山積みです。コロナにより更に顕在化した多頭飼育崩壊やネグレクトをはじめ、ペットと飼育者双方の高齢化、生活保護世帯での飼育、ゴミ屋敷問題などでは、ペットのみならず人間の福祉との連携、社会・地域単位での仕組みづくりが急がれます。

2023年9月で「アニドネ」を立ち上げてから12年。立ち上げ当時の日本では年間28万頭、1日あたり800頭もの犬猫が殺処分(*2010年時点)されていました。直近の2021年度(令和3年度)の殺処分数は、犬猫合計で1万4457頭。この期間に2回の動物愛護管理法の改正

があり、ペットの流通や販売に関する課題への打ち手としての数値規制も行われました。SNSの普及や動物愛護関連団体の尽力による「保護犬猫」の社会的認知も進んだことで、譲渡数自体は増加し、一歩ずつ前進していることは事実です。アニドネは現在AWGsという、動物の目線で考えたSDGsを独自で設定し、「13のゴールと30のテーマ」を元に問題提起とアクションを開始しています。有難いことに年々多くの企業様や個人の皆さまの応援をいただいております。

これから次期法改正の議論も加速していくタイミングとなります。皆さまとともに「キモチをカタチに」をモットーに、強い意志をもって「真の人とペットの共生社会」の実現を引き続き目指して参ります。

勉強会報告

2022年も一般の飼い主さんに向け
 「保護犬猫セミナー」を開催!

昨年に引き続き、一般社団法人日本ドッグトレーナー協会(JDTA)様からお声がけいただき、「はじめての保護犬猫セミナー~家族として迎えたいあなたへ~」というテーマで、一般の飼い主さんに向けてオンラインセミナーを実施しました。

昨年からアニドネセミナーに仲間入りした、このテーマ。動物福祉的な観点から、保護施設や団体選びのポイント、事前準備や心得、環境の整え方などについてお話ししました。お迎え予定の飼い主さんから、たくさん質問や感想をいただき、保護犬猫への認知や意識の高まりを感じました!



Information

賛助会員プログラム <アニドネ公式サポーター>を リニューアルしました!

従来の個人会員と法人会員に加えて、18歳未満を対象としたジュニア会員の区分も設定。また、個人会員はオンライン決済も可能となっています。アニドネの目指すビジョンや活動にご賛同・ご支援をいただけるサポーターを増やしなから、「日本の動物福祉を世界トップレベルに」一日でも早く近づけるよう活動していきます。



●新しい賛助会員プログラム

- ①個人会員: アニドネ公式サポーター
 会費: 毎月1,000円、3,000円、5,000円、10,000円
 会員資格: どなたでも可能
- ②ジュニア会員: アニドネ公式ジュニアサポーター
 会費: 毎月500円
 会員資格: 18歳未満
- ③法人会員: アニドネ公式法人サポーター
 会費: 年間30,000円~ ※賛助期間: 1年間~
 会員資格: 動物福祉に沿っていない企業を除く全企業
 ※法人として一定の審査あり

会員費は、アニドネが支援団体を検討する際の調査活動、オンライン寄付サイトの運営、リサーチ & 情報発信活動に活用いたします。

magazine STAFF



EDITOR アニドネ 山本和子



DESIGNER 赤星淳一

animal donation magazine vol.8
 (2022年6月~2023年5月)
 発行: 公益社団法人アニマル・ドネーション
 住所: 東京都港区南青山2丁目 15-5 FARO1F
 代表理事: 西平衣里
 URL: <https://www.animaldonation.org/>